

まちづくりで活躍する

JR松山駅鉄道高架化工事



高架橋ができるまで



県都・松山市の陸の玄関口、JR松山駅を中心とした約2.4kmの区間で、南北方向に走る鉄道を高架にする工事が行われています。事業費約580億円、事業期間16年の大規模プロジェクトで、令和6年度に完成予定です。この工事によって、鉄道の高架橋の下を人や車が通れるようになり、交通環境が改善します。また、JR松山駅は2階から乗降する高架駅となるとともに、バリアフリー化が進められます。さらに、駅周辺広場もあわせて整備され、駅を中心とした魅力ある街に生まれ変わります。

工事のトータルコーディネーター 現場監督

仕事内容は？

現場監督とは
専門作業を行う様々な会社の仕事を調整し、工事全体の安全、スケジュール、コストなどを管理します。



現場で働く職人さんも同じ気持ちだと思います。だから、職種は違えど現場のみんなが同じ目標に向かって、一致団結のモノづくりができるのです。

皆さんにメッセージを！

現場監督の仕事は、キャリアの道筋が明確です。3〜4年目までは現場で測量や検査立会いなどの経験を積みます。職人さんと共に汗を流すことで身についた現場感覚が、その後の仕事に生かされます。入社したときはみんな同じスタートライン。ですから安心して建設業の世界へ飛び込んでみてください！

仕事のやりがい？

今回の工事の現場監督をしています。工事現場では地面の掘削や埋め戻しを行う土工(どこう)、足場工事、鉄筋工事、大工仕事など多くの職種の技術者が集結し、構造物の完成を目指します。その業者間の調整をはじめ、事業主体である愛媛県、工事発注者であるJR四国、周辺整備を行う松山市との調整も重要な仕事です。つまり、現場監督は仕事を円滑に進めるためのトータルコーディネーターを担っています。

社会インフラを整備し、地域の皆さんに利用していただける喜びと、後世につながる永久構造物(コンクリート構造物など)を造っているという自負、これに尽きます。何年も苦勞を重ね、手がけた工事が、無事に完成したときはとても達成感があります。同じ



(株)大林組 [東京都]
時谷 正憲さん (入社26年目)
ときたに まさのり